

## 最新の商品、技術及びサービスの提供

### 株主の皆様へ

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに、当社第64期中間期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成24年12月  
代表取締役社長 三浦 直行

## 営業の概況

## Review of Operations

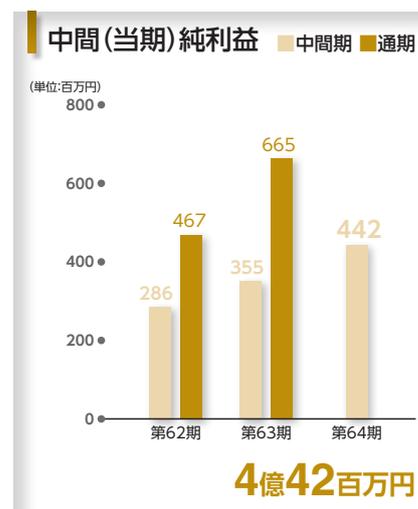
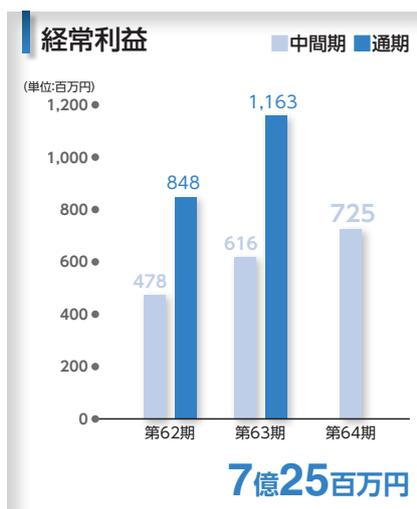
当中間期における世界経済は、欧州諸国における財政金融危機問題の長期化や米国の雇用不安に加えて、今まで高い成長率を続けてきた中国をはじめとする新興国の成長スピードが鈍化するなど、厳しい状況で推移いたしました。一方、わが国経済におきましては、エコカー補助金制度等の政策効果に支えられた個人消費需要や東日本大震災の復興需要を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、当中間期後半に至っては尖閣諸島問題を巡って日中関係が悪化するとともに、輸出企業中心に日本経済の先行きは不透明な状況となってきております。

このような環境下で当社は、需要好調なスマートフォン、タブレットPC等及びデジタル一眼レフカメラ関連の得意先や自動車・車載部品関連の得意先における省力化や自動化のための設備投資に必要なFA機器、制御機器等の販売を積極的に推進してまいりました。また、管理面では経営全般におけるコスト削減努力を継続することによって利益創出に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は105億28百万円（前年同期比7.6%増）となり、営業利益は6億66百万円（前年同期比18.6%増）、経常利益は7億25百万円（前年同期比17.8%増）、中間純利益は4億42百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

## 決算ハイライト

## Financial Highlights



制御機器

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、スマートフォン向けの小型液晶製造装置及び電子機器等の得意先向けに電子センサー、真空機器及び電磁弁等の販売は好調でありましたが、半導体製造装置及び大型液晶製造装置等の得意先における設備投資が低調に推移したため、主力の空気圧機器等の販売が伸びず、制御機器全体の売上高は前年同期比8.8%減の35億11百万円となりました。制御機器全般に需要が低調な中でも、新たに取り組みを開始した組立ラインでの製品の位置決めに利用される「位置決めピン」は車載部品関連の得意先において需要が伸びてきております。

売上高



FA機器

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、スマートフォン、タブレットPC及び一眼レフカメラの普及を背景に、それらに関連する得意先並びに自動車・車載部品に関連する得意先等における自動化推進のための設備投資需要は堅調に推移しました。中でもスマートフォン及び一眼レフカメラの得意先向けにファイバレーザ溶接装置、3D外観検査機及び塗布装置等の販売増が寄与したため、FA機器全体の売上高は前年同期比16.9%増の55億38百万円となりました。

売上高



産業機器

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期におきましては、自動車・車載部品の得意先向けに無人搬送車、コンベア及びネジ締め機等の需要が堅調であることに加えて、精密機器等の得意先向けにアルミフレームの販売が好調であったため、産業機器全体の売上高は前年同期比23.4%増の14億78百万円となりました。

売上高



トピックス

Topics

タイ現地法人<TOBA (THAILAND) CO.,LTD.>を設立 (平成24年5月)

当社は、販路拡大における海外戦略を重要な経営課題と位置づけております。将来的に高い成長が見込まれる、東南アジア地域におけるタイ市場の重要性にはかねてより注目し、同国への進出を検討してまいりました。

同国においては、国内既存得意先の進出が著しく増加しており、今後も得意先の設備投資需要は拡大することが見込まれることから、本年5月に首都バンコクに現地法人を設立し、8月より営業を開始しております。



会社の概要

Corporate Data

|      |  |
|------|--|
| 社名   | 株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)   |
| 本社   | 東京都文京区水道二丁目8番6号  |
| 設立   | 昭和24年12月14日 (創業：明治39年9月15日)  |
| 資本金  | 11億4,800万円   |
| 事業内容 | 制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出。<br>上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。<br>機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出。 |
| 従業員数 | 199名 (男性：139名 女性：60名)<br>(平成24年9月30日現在)  |

株主メモ

Shareholder Memo

|                |  |
|----------------|--|
| 事業年度           | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会         | 6月   |
| 基準日            | 3月31日<br>その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。   |
| 配当金受領株主確定日     | 3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日   |
| 株主名簿管理人        | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社  |
| 特別口座の口座管理機関    | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社  |
| 郵便物送付先 [電話照会先] | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社 証券代行部<br>電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)     |
| 取次事務           | 三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店   |
| 単元株式数          | 100株   |
| 公告方法           | 電子公告により行います。<br>(http://www.toba.co.jp/)<br>ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。 |